

なせ社協



～みんなが住みよい町づくり～

発行 名瀬地区社会福祉協議会
会長 荒木三和子

地区社協(地区社会福祉協議会)とは

地区社協とは、
「誰もが安心して暮らせる地域づくり」
を目指し、戸塚区社協と連携して
「自分の地域は自分たちでよくしていこう」
という気持ちで、地域の特性を生かした様々な活動を行
っている任意の団体です。戸塚区では連合町内会単位
で、18の地区社協があります。

名瀬地区の社会福祉協議会では、
事業として、社会福祉大会、社会を明るくする運動、名
瀬オープングラウンドゴルフ、ふれあいグラウンドゴル
フ大会、子育て支援(赤ちゃん教室・モーモークラブ・育
児講座)、高齢者食事会、いきいき健康セミナーを行っ
ています。
その他様々なボランティアグループ等に助成しています。

第22回「名瀬地区社会福祉大会」開催

5月18日(日)午後2時より名瀬地域ケアプラザにて「名瀬地区
社会福祉大会」を2部構成で開催致しました。

はじめに来賓の区社協山本局長、次に大山地区社協顧問から
挨拶がありました。

第一部 定期総会

荒木会長の議事進行のもと、事務局より令和6年度事業報告及
令和7年度事業計画(案)を、次に会計より令和6年度決算及令和
7年度予算(案)が提出され、会計監事をはじめいずれの議案も全
会一致で承認されました。参加者60名

第二部 ミニコンサート 出演:ベルハーモニーひまわり

ベルハーモニーひまわりは、ハンドベルの音楽ボランティア団体
です。2021年に結成され、地域の人々の交流を深めることで地
域貢献することを目的に活動されています。

今回は、エーデルワイスやドレミの歌、愛唱歌に加え馴染みのあ
る歌謡曲をご披露いただきました。ベルで奏でる美しいハーモニ
ーに会場からは大きな拍手がおくられていました。



名瀬地区社会福祉協議会 令和6年度収支決算書

収入の部

科目	決算額	備考
市社協補助金	50,000	組織運営事業支援
区社協助成金	230,340	各種事業活動支援
連町分担金	850,000	分担金
雑収入	817	
前年度繰越金	1,631,828	
合計額	2,762,985	

支出の部

科目	決算額	備考
事業費	307,680	各種事業活動費
区社協会費	187,080	区社協一般、世帯会費
助成金	425,000	各種団体の活動支援
広報研修費	55,630	「なせ社協」発行など
事務費	17,058	事務用品等
会議費	18,426	諸会議費
渉外費	94,190	慶弔費、渉外活動費
雑費	50,000	行事用など
次期繰越金	1,607,921	
合計額	2,762,985	



とつかハートプランマスコット ころん

とつかハートプランをご存知ですか？



第4期(令和3～7年度)戸塚区地域福祉保健計画
 =とつかハートプラン(戸塚区地域福祉保険計画の愛称)
 「誰もが安心して心豊かに暮らすことのできる地域社会の実現」を目指して、住民、事業者、公的機関(区役所、社会福祉協議会、地域ケアプラザ等)などが福祉保健などの地域課題の解決に協働して取り組み、身近な地域に支え合いの仕組みづくりを進めることを目的とした計画です。

とつかハートプランを受けて、各地域でもハートプランがあります。

第4期名瀬地区福祉保健計画=名瀬地区ハートプランも、名瀬地区ハートプラン推進委員会(名瀬連合町内会、名

瀬地区社協の代表等で構成)が、第4期(令和3～7年度)の振り返りや、第5期(令和8～12年度)の策定に向け、話し合いを重ねています。

第4期(令和3年～7年度)名瀬地区ハートプランの目標は

安心・安全・助け合いのまち♥名瀬

1. 新たなボランティア、担い手づくり
2. 水と緑の資源を生かした地域づくり
3. 地域交流・多世代交流ができる場づくり

どのくらい達成できているのでしょうか？第5期の目標等は来年度発表されます。



第7回 無料食品・日用品配付会(フードパントリー)開催

7月12日(土)が寄付の受付、13日(日)が配付当日でした。おかげ様で、名瀬地区のフードパントリーも回を重ねるごとに定着してきました。

ご寄付の内訳は、食品・日用品が13件、野菜が3件、現金3件(合計19,500円)で、暑い中届けてくださり本当に有難うございました。ご自宅にあ

るもので十分なところ、中にはこの日のために品物を買って来てくださる方がいたり、秋葉小学校の特別支援学級のお子さんたちが育てたジャガイモを届けに来てくださったたり、今回は異常気象で野菜の出来が悪くてと言いながら貴重なキュウリ等の野菜を持ってきてくださったりと、地域の皆さまの暖かさ、優しさに感動すると共に、これこそが「助け合いのまち♥名瀬」の真髄ではないかと胸を張りたくなりました。

配付を希望された方も19世帯とこれまでで一番多く、活動の意義を改めて感じています。

今回は米不足で、お米の配付を諦めていたところ、セカンドリーグ神奈川(地域福祉を推進する中間支援のNPO法人)さんから政府備蓄米(令和5年度)をなせホッと食堂とフードパントリーにいただけることになり、1世帯に少しずつですが配付できて良かったです。

喜びの声



なせホッと食堂 ♥ ~みんなの居場所~

7月18日(金)の「なせホッと食堂」は、子ども31人、大人10人、それに名瀬小・名瀬中の先生方4人がお出でになり、カレーを召し上がっていただきました。ちょうど夏休みに入ったばかりで、会場の名瀬第二町内会館は子どもたちの笑顔や元気があふれ、のびのびとした様子を見て、先生方も喜んでくださったようです。

この日のメニューは、定番のポークカレー、白身魚のフライ、ほうれん草の胡麻和

え、枝豆、フルーツヨーグルト等でした。カレーは好評で完売でした。



利用された方からのメッセージ

- ・いつも美味しくいただいています。子どもたちも次も行きたいと楽しみにしています。
- ・とても楽しみにしています。いつも美味しい食事と楽しい時間を提供して下さって有難うございます。